

第 119 回 光応用・視覚技術委員会議事録

平成 21 年 1 月 16 日

光応用・視覚技術委員会

委員長 亀井宏行

日時：平成 20 年 10 月 10 日（金）14：00～17：00

場所：日本交通協会第 1 会議室

出席者：亀井委員長、篠田、白水、高橋、玉川、綱脇、中瀬、堀中、堀内、神藤各委員、  
君島、木下各幹事

配布資料

No.119-01 第 118 回光応用・視覚技術委員会議事録（案）

No.119-02 第 76 回基礎・材料・共通部門研究調査運営委員会議事録

No.119-03 Light Application and Visual Science (LAV)

No.119-04 光応用・視覚委員会平成 20、21 年度活動計画表

No.119-05 光応用・視覚技術委員会名簿

議事

1. 前回議事録確認

訂正 1 件が承認された。

議事 3 5) 赤外線技術調査専門委員 赤外線技術調査専門委員会

2. E I N A 誌記事原稿について

亀井委員長から E I N A 誌記事原稿（Light Application and Visual Science (LAV)、資料 No.119-03）提出について報告された。

3. A 部門研究調査運営委員会報告

高橋前委員長から配布資料 No.119-02 に基づき、第 76 回、77 回 A 部門研究調査運営委員会の報告がされた。

1) 単行本オンデマンド出版について

販売予想が 300 部以上 2000 部以下の場合オンデマンド出版とし、さらに多い場合は通常の出版とする旨報告された。

2) 120 周年シンポジウムについて

湯本部門長が「安心・安全のための基礎技術、新素材」のタイトルでシンポジウム講演を行うことが報告された。当委員会関連では L E D 照明について述べられる。

3) A 部門誌英文特集号の廃止について

隔月の A 部門誌英文特集号は平成 20 年 10 月号以降英文誌に移行する旨報告された。

4) 同一機関所属の委員が複数いる委員会について

先進超伝導材料の組織・組成と特性に関する調査専門委員会に同一機関所属の委員が複数いることについて、各委員の研究テーマが異なり、一機関一人では対応できない事情があることが報告され、協議した結果、理由が明確で、委員会規模が適正であることを条件

に認められることになった旨報告された。

5) 通常論文数が不足していることについて

第77回A部門研究調査運営委員会(8月22日)において、特集論文は呼びかけにより集まっているが通常論文が集まらない状況であることが報告された。掲載料が高額であることや、和文の論文を掲載する価値について意見があった旨報告された。

6) アクションプランについて

新領域研究のグループ制度創設を部門にではなく直接学会員に説明し、名乗りをあげやすくするように要望があった旨報告された。

7) 他学会との共催の規定について

事務局案が出されたが、学会間の規定なので、技術委員会間の共催に適さないため再度事務局案が出ることになった旨報告された。著作権に関する規定を明確にするのが難しいことが指摘された。

8) 研究会資料への広告掲載について

研究会資料に広告を掲載することについて、おおむね賛成であった旨報告された。

9) 電子図書館について

電子図書館が稼動した旨報告された。

4. 調査専門委員会の活動報告

平成20,21年度の活動実績・予定が各委員会から報告された。見学会は開催後に報告すればよいが、開催前に親委員会に報告し、親委員会開催とすることができる(ただし先着順)旨報告された。

5. 委員の交替

- 1) 岡田委員が11月30日退任し、2009年1月1日に1号委員に就任することが承認された。
- 2) 1号委員1名の補充が可能であり、医療・視覚の委員会立ち上げに向けて委員を加えるために矢口委員、関根委員に紹介を依頼することが高橋委員より提案された。

6. 技術委員会ホームページについて

当委員会ホームページ管理者を高橋前委員長から亀井委員長に交替することが報告された。各委員会については設置趣意書、委員会議事録、委員名簿(住所、電話番号を除く)が掲載されている。ホームページ更新をA部門に報告する。

7. 委員会の成立について (亀井委員長)

委員会は委任状も含めて1号委員の2/3の出席で成立し、出席者の過半数で議決される旨確認した。また議事録はメール配信し、読み合わせを省くことが提案、承認された。

8. 計測・光応用合同研究会について(篠田委員)

計測・光応用合同研究会が2月5、6日に宮崎大で開催され(5日には懇親会あり)、光応用・温度計測および一般計測の論文発表(発表20分、質疑5分)を募る旨報告された。締め切りは参加申込み12月2日、原稿1月5日、非会員参加可、詳細はメールで連絡。

9. A部門編修委員会より(篠田委員)

4月号の記事提案を依頼された。調査研究委員会レポートには今回記事を出さない(リソグラフィ、赤外線は掲載済み)。海外駐在レポートは適任者を探す。原稿締め切りは12月20日である旨報告された。

10. 次回委員会について

日時：平成21年1月16日(金)15:00~17:00

場所：日本交通協会第1会議室

記録 木下